

# 第 33 回建設業経理事務士検定試験

## 4 級試験問題

### 注 意 事 項

1. 解答は、解答用紙に指定された解答欄内に記入してください。解答欄外に記入されているものは採点しません。
2. 金額の記入にあたっては、以下のとおりとし、1ますごとに数字を記入してください。

↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
一	千	百	十	一	千	百	十	一
億	万	万	万	万	の	の	の	の
の	の	の	の	の	位	位	位	位
位	位	位	位	位				

3. 解答は、指定したワク内に明瞭に記入してください。判読し難い文字が記入されている場合、その解答欄については採点しません。
4. 設問中の各取引について、消費税は一切考慮しないこととします。
5. 解答用紙には、氏名・受験番号シール貼付欄があります。氏名はカタカナで記入し、受験番号は受験票に付いている受験番号シールを貼ってください。なお、受験番号シールがないときは、自筆で受験番号を記入してください。  
(氏名・受験番号が正しく表示されていないと、採点できない場合があります。)

【第1問】 青森工務店の次の取引について仕訳を示しなさい。使用する勘定科目は下記の＜勘定科目群＞から選び、その記号（A～R）と勘定科目を書くこと。なお、解答は次に掲げた（例）に対する解答例にならって記入しなさい。（24点）

（例） 現金¥100,000を当座預金に預け入れた。

- (1) 現金¥550,000を元手に建設業を開業した。
- (2) 経理事務員の出張のため、航空運賃¥50,000を現金で支払った。
- (3) 工事に従事した作業員に対して、賃金¥25,000を現金で支払った。
- (4) 受注した工事が完成したので注文主に引き渡し、その代金¥700,000が普通預金に振り込まれた。
- (5) 下北銀行から¥450,000を借り入れ、利息¥6,000を差し引かれた手取額が当座預金に振り込まれた。
- (6) 受注した工事にかかる外注代金¥170,000を小切手を振り出して支払った。

＜勘定科目群＞

A 現金	B 当座預金	C 普通預金	D 貸付金	E 建物
F 備品	G 資本金	H 材料費	J 完成工事高	K 旅費交通費
L 労務費	M 完成工事原価	N 支払利息	Q 借入金	R 外注費

【第2問】 次の設問に答えなさい。（20点）

問1 次の文の  の中に入る用語として適当と思われるものを下記の＜用語群＞から選び、その記号（ア～チ）を解答欄に記入しなさい。

- (1) 簿記には、その記帳方法の違いによって、  1 と  2 の二つがある。
- (2) 支払利息は  3 に属し、借入金は  4 に属する。
- (3) 期末において、諸帳簿の記録を整理して締め切るとともに、企業の財政状態と  5 を明らかにするため、 6 と損益計算書を作成する一連の手続きを  7 といい、それは通常1年ごとに行われる。

＜用語群＞

ア 決算	イ 資産	ウ 貸借対照表	エ 単式簿記	オ 振替
カ 負債	キ 費用	ク 期中	コ 期末	サ 資本
シ 取引	ス 現金	セ 経営成績	ソ 収益	タ 残高
チ 複式簿記				

問2 次の各取引は、A 交換取引、B 損益取引、C 混合取引 のどの取引に属するか。該当する取引の記号（A～C）を解答欄に記入しなさい。

- 1 借入金とその利息を小切手を振り出して支払った。
- 2 家主に家賃を現金で支払った。
- 3 工事が完成したので引き渡し、工事代金として小切手を受け取った。
- 4 営業資金が不足したので、現金を追加元入れした。
- 5 機械を購入し、代金は小切手を振り出して支払った。

〔第3問〕 北陸工務店の次の<資料1>及び<資料2>に基づいて、解答用紙の合計残高試算表(平成×5年1月31日)を完成しなさい。(30点)

<資料1> 平成×5年1月1日(期首)の勘定残高は次のとおりである。

現金 ¥150,000 当座預金 ¥250,000 備品 ¥250,000 借入金 ¥130,000 資本金 ¥520,000

<資料2> 平成×5年1月中の取引は次のとおりである。

- 7日 現金¥30,000を当座預金に預け入れた。
- 9日 本社事務用の筆記用具と用紙類を買い入れ、代金¥7,000を現金で支払った。
- 10日 受注工事が完成したので注文主に引き渡し、工事代金¥550,000を現金で受け取った。
- 13日 工事現場の諸経費¥23,000を現金で支払った。
- 15日 本社事務員の当月分給料¥190,000を現金で支払った。
- 18日 富山建材商店から工사용資材を購入して工事現場に直送し、代金¥110,000を小切手を振り出して支払った。
- 20日 借入金の利息¥6,000を小切手を振り出して支払った。
- 22日 本社の当月分電話料¥14,000が当座預金から引き落とされた。
- 25日 現場作業員の当月分賃金¥210,000を現金で支払った。
- 31日 本社事務所の当月分家賃¥70,000を小切手を振り出して支払った。

〔第4問〕 次の事項を参照のうえ、解答用紙の精算表を完成しなさい。(26点)

- (1) 当期末において工事はすべて完成し、引渡し済みである。
- (2) 工事に関する原価は、すべて完成工事原価勘定に振り替える。